

申込日 令和 年 月 日

津山圏域クリーンセンターリサイクルプラザ 行
 (FAX 0868-57-2226 / E-mail replaza@kankyop.or.jp)
 TEL 0868-57-0153

津山圏域クリーンセンター環境学習申込書(小学校用)

1 申込者	(フリガナ)						
	学校名	立			小学校		
	(フリガナ)				(フリガナ)		
	代表者名				担当者		
2 学校所在地及び連絡先	住所	〒 -					
	TEL/FAX	() -		/ () -			
	E-mail	@					
	学習日当日の緊急連絡先						
3 学習日時 (希望日時)	【第一希望】	令和	年	月	日	(曜日)	時 分 ~ 時 分
	【第二希望】	令和	年	月	日	(曜日)	時 分 ~ 時 分
4 来場者数 <small>※先生などの引率者を含む</small>	人	内訳	引率者	児童生徒			
	(クラス数)						
5 来場方法	○ バス (台) ○ 乗用車 (台) ○ その他 ()						
6 学習目的等	対象者	(例) 小学4年生 ※複数校合同の場合は、各校ごとの人数をご記入ください。					
	学習目的	(例) 地域社会の課題に関する学習のため					
7 希望する学習内容等	<input type="checkbox"/> 工場棟見学+学び+ふりかえり (学習時間 約90分~) <input type="checkbox"/> ごみの歴史を学ぶ (学習時間 約5~10分) <input type="checkbox"/> 環境にやさしい暮らしを学ぶ (学習時間 約5~10分) <input type="checkbox"/> 環境のマークを学ぶ (学習時間 約5~10分) <input type="checkbox"/> 持てるかな?のコーナー (学習時間 約5~10分) <input type="checkbox"/> 持続可能な社会を学ぶ (学習時間 約5~10分)						
8 備考	(学習内容やその他ご希望があればご記入ください。)						

【注意事項】

- 1 環境学習可能日時
 - 1) 毎週火曜日から土曜日(12月29日から1月3日を除く)の午前9時から午後4時
(日曜日及び休館となる月曜日は、学習を受け付けておりません。月曜日が祝日の場合は火曜日が休館となります。)
- 2 申し込み方法・施設利用について
 - 1) 学習希望日の3週間前までに、リサイクルプラザに電話または来館により事前予約を受け付けます。
(受付時間 平日午前9時から午後4時、電話番号 0868-57-0153)
 - 2) 学習日が決定したら、その2週間前までに「環境学習申込書」を持参、FAXもしくはE-mailにて提出してください。
(2週間前までに「環境学習申込書」の提出がない場合キャンセルになる場合がありますのでご注意ください。)
 - 3) 申し込み可能人数は最大100名程度とし、人数が多い場合は、グループに分かれて学習をしていただきます。
100名を超える場合には、ご相談ください。
 - 4) 毎週日曜日は、熱回収施設及びリサイクル施設の団体様の施設学習(施設見学)はできません。
 - 5) 申請者および施設利用者の故意または過失によって生じた施設の修繕にかかる費用は、申請者の負担とします。
また、施設利用の安全管理については、申請者が責任を持って実施する事とし、事故が発生した場合は、申請者がすべての責任を負う事とします。

上記の「注意事項」について確認しました。

リサイクルプラザ環境学習メニュー

小学生の皆さんが社会科見学などで来場されるにあたり、滞在時間が2時間以上あるのであれば、工場棟見学に以下のような内容を加えてみてはいかがでしょうか。

細かい内容や、所要時間については、津山圏域クリーンセンターリサイクルプラザにご相談ください。

① ごみの歴史を学ぶ	(学習時間 約5～10分)
縄文時代から現代までの日本のごみの移り変わりを学びます。 昔の暮らしからは、どんなゴミが出ていたのでしょうか。今の暮らしの参考となるものがあるはずです。	
② 環境にやさしい暮らしを学ぶ	(学習時間 約5～10分)
学校や家庭などの暮らしから出るごみを減らす工夫を学びます。 自分事として考えるクイズもあります。	
③ 環境のマークを学ぶ	(学習時間 約5～10分)
わたしたちの周りには、環境に関するマークがたくさんあります。 どのマークがどの製品に付けられているんでしょうね。体験型クイズもあります。	
④ 持てるかな？のコーナー	(学習時間 約5～10分)
アルミ缶やペットボトルをプレスしたものを持って重さ当てクイズや、本数あてなどを行います。 わたしたちの暮らしの中では、たくさんのボトル類が消費されています。体験して、体感して、現実を知ってもらい考えてもらおうコーナーです。 その他にも、なぞのバックがあり、CO ² やエネルギーの重さを体験してもらいます。	
⑤ 持続可能な社会を学ぶ	(学習時間 約5～10分)
持続可能な社会って？ これからどんな社会を作っていくことが大切かを考えてもらいます。	